

地域親の皆さんの登録と派遣をしています

今の青少年は、様々な人との交流や体験が不足しがちといわれています。

地域社会の中で地域の大人たちが自分の得意なことやできることを通して、地域の青少年と交流を図っていく、そうした活動をしている地域の大人が「地域親」です。

青少年育成茨城県民会議は、地域の大人誰もが地域親となるようその普及を進めるため、平成17年度に茨城県の委託を受け「地域親人材バンク」を設置しました。

この人材バンクは、地域で活動している地域親の皆さんに登録していただき、地域で開催される行事や研修会に出向いて、青少年と交流を深めていただいたり、講師となって地域親の普及を進めていただく制度です。

平成18年度は、読み聞かせや紙芝居、昔遊び、マジック、竹細工、バルーンアート、野外活動、スポーツ指導など様々な特技を持った136名の皆さんの登録があり、子ども会や地域のコミュニティ行事などに延べ85名を派遣しました。

地域の行事に参加し作品づくりに取り組んだ子どもたちからは、「地域親の皆さんに親切に教えてもらい、とても楽しかった。また一緒にやりたい。」などといった声が寄せられ地域親の活動は子どもたちや主催者に大変好評でした。

登録、派遣の詳しいことは、青少年育成茨城県民会議にお問い合わせください。



一緒になってクリスマスリースづくりをしました(会場: 大子町立生瀬小学校)

地域親ネットワーク会議を開催しました

地域親普及の一環として、地域で大人と子どもが関わりをもって活動している団体・グループ、そして青少年育成市町村民会議、関係行政機関の関係者等が一堂に会した会議を県内4会場で開催しました。

茨城キリスト教大学教授安藤博先生と常磐大学教授池田幸也先生から「地域における大人と子どもの関係づくり」をテーマとした講話をいただき、その後、活動の一層の充実を図るため、日頃の活動についての情報交換を行い相互の交流と連携を深めました。

平成19年度も開催します。会議の様子は、ホームページでご覧になれます。

ふれあいのある家庭・地域づくりシンポジウムを開催しました

家庭の養育機能の向上を図り明るく楽しい家庭づくりを進めるために青少年育成茨城県民会議は、茨城県の助成を受け、子どもと親が一堂に会し、望ましい「家庭のあり方」を考え、相互の理解を深めるとともに、その実践を目指したシンポジウムを開催しています。また、このシンポジウムを通して地域社会の教育力を高めるために地域全体で青少年を育むネットワークづくりを進めています。

平成18年度も当会議内に企画委員会を設置し、応募のあった4地区を指定してモデル事業を実施していただきました。

指定地区で組織された運営(実行)委員会には、当会議よりアドバイザーを派遣し助言や協力を行いました。

この運営(実行)委員会は、地域づくりを進めるために青少年育成市町村民会議やP T Aを軸に、学校や様々な地域の育成団体で組織されました。

地域の特徴を生かし開催されました

水戸市青少年育成推進会議(飯富地区青少年育成会)

いじめをテーマとした長編アニメ映画「ハードル」を親子で鑑賞し、話し合いをもちました。

青少年育成潮来市民会議

基調講演を取り入れ、流通経済大学助教授松田哲先生がギターと映像を使って「人間関係とコミュニケーション」と題した講演を行いました。



「イエス・ノーカード」を使った全体会～行方市～

常陸太田市P T A連絡協議会

P T Aが実施主体となり地元青少年育成市民会議が一緒になり実施しました。また、パネルディスカッションを取り入れました。

青少年育盛行方市民会議

青少年育成市民会議設立記念事業として実施しました。全体会では、親子が「イエス・ノーカード」を使いお互いの意思を示しあいました。

運営にあたっては地元の高校生や茨城県から委嘱を受けた「いばらきユースプロジェクト」の青年が活躍しました。モデル事業報告書を差し上げます。